

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 音羽商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	1. 巡回・窓口指導実企業数 103件（巡回61件 窓口42件） 2. 巡回・窓口指導延件数 301件（巡回163件窓口138件） 3. 課題解決提案件数：9件 4. 経営革新承認件数：0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 100.3 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 90.0 %)	巡回により、小規模事業者の悩み等をタイムリーに相談を受け、早期問題解決を図ることが出来た。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	課題解決提案では経営革新につながる提案を積極的に行う。
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の目計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 対象事業者数 23事業所 2. 指導延べ回数 350回 3. 指導日数 208日	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 104.5 %)	指標	(達成度 %)	記帳の仕方、決算指導、確定申告指導により、自主記帳及び適正な税務申告・計数管理による経営力の向上が図られた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	インボイス登録者の指導を行ってゆきたい。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	1. 集団講習会 1回（経営分析セミナー）受講者数6名 2. 個別講習会 6回（税務相談会等）受講者数34名	小規模事業者	指標	講習会受講者数 (達成度 80.0 %)	指標	(達成度 %)	集団講習会では、経営分析の基礎となる、P L / B S の内容とこれらを使った経営分析の5つの個別指標の意味と計算方法を学ぶことができた。個別講習会では税務上の悩みを個別で税理士に相談することで解決ができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	経済情勢や会員ニーズに合った講習会を開催する。
祭典事業（地域産業祭事業）	地域性を活かしたイベントを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の産業（地域資源・観光資源）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 赤坂宿宮路もみじまつり旧東海道の宿場町という当地域の歴史的特色を活かし、普段は大橋屋に來れない方々にも多数ご来場いただき、当地域の特色をPRできた。 来場者数500名	小規模事業者	指標	来場者数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	東海道の宿場町という当地域の歴史的特色を来場者にPRできた。また、会員物販においては出店者が地元産の材料を使った菓子等を販売し、地域の特色をPRできた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	引き続き、東海道の宿場町という当地域の歴史的特色をPRしてゆく。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小企業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	1. 委託事業所数：17事業所 2. 対象従業員：176名	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 106.3 %)	指標	(達成度 %)	17事業所の労働保険に関する申告・納付等の諸手続等実施により、各委託事業所の事務の合理化と自己財源確保に努めた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 現行どおり	令和4年度の実績数値を維持する。
青年部・女性部事業	青年部間での交流や社会福祉を通じて地域との関わり合いを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	1. 青年部 商工会事業協賛 4名 支部青年部員交流事業 3名 豊橋まつり出展 2名 講習会参加 1名 延べ人数：10名	青年部員	指標	事業参加者数 (達成度 66.7 %)	指標	(達成度 %)	交流、講習会事業等各事業を通じて自己啓発及び、地域活性化の原動力となり、特に赤坂宿宮路もみじまつりでは青年部が実行委員会の中心的役割を務め、イベント成功の原動力となった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への C	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	部員の増強に努める。
福利厚生事業	中小企業、小規模零細企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	1. 愛知火災共済加入件数：26件 2. 特退共加入件数：18件 3. 中小企業共済加入件数：83件 加入件数合計：127件	小規模事業者	指標	各種共済加入件数 (達成度 84.7 %)	指標	(達成度 %)	企業の安定・雇用等の持続的な安定が図られ、各共済制度の普及、企業の健全な育成につながった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	新規会員・創業間もない事業所に重点的に説明をし、各種共済制度の普及を図る。
部会・委員会事業	商業・工業の各部会や委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資することを目的とする。	1. 商業・工業部会合同視察事業開催回数：1回 参加企業数：9企業 参加人数：25名	小規模事業者	指標	視察参加事業所数 (達成度 56.3 %)	指標	(達成度 %)	部会事業実施により、参加企業の発展と参加企業同士の横の繋がりの強化が出来た。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 事業者への B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	参加者が固定されている傾向があるので、改めて声掛けに努める。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 音羽商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業側評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②	
雇用促進事業（人材育成事業／珠算検定事業）	次世代の能力開発事業として珠算検定事業を実施し、若年層の育成を行う。	1. 検定実施回数：4回 2. 受験者数：35名 3. 合格者数：19名	地区内小学生	指標 受験者数 (達成度 53.8 %)	指標 (達成度 %)	指標 目標数値	指標 実績数値	指標 目標数値	指標 実績数値	得られた効果 受験生に対して、技能の鍛錬向上が図られた。	総合評価 C	事業側評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への	満足度 B 必要性 C	補足 塾生が年々減ってきている	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	塾生の減少に伴い、現状に即した目標数に変更する。
経営強化事業	当商工会のホームページの特徴である、各会員にIDを付与し各々が自社のページを商工会ホームページ内に無料で持てる仕組みを活用し、自社ホームページの無い会員を中心に作成の指導・支援を行う。また長らく更新をしていない会員には更新の指導・支援を行う。	1. 個別指導件数 13件 2. 個別指導によるホームページ完成・更新件数 8件	小規模事業者	指標 ホームページ完成・更新件数 (達成度 160.0 %)	指標 (達成度 %)	指標 目標数値	指標 実績数値	指標 目標数値	指標 実績数値	個別指導をすることで、6名の会員がホームページの新規作成・更新をすることが出来た。	総合評価 A	事業側評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への	満足度 A 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 実施方法②	新規会員のホームページ作成に重点を置く。
若手後継者等育成事業	今後数十年に渡り事業を続ける青年部員にとって、将来にわたって事業を継続させるためには、DXに関する意識の醸成や知識習得が必要となるため、DXセミナーを1回開催した。	1. 講習会開催数：1回 2. 講習会参加人数：6名	青年部員・小規模事業者	指標 参加人数 (達成度 60.0 %)	指標 アンケートによる満足度 (達成度 125.0 %)	指標 目標数値	指標 実績数値	指標 目標数値	指標 実績数値	普段の自社の業務の中で「あたりまえ」に対し疑問を持ち数値化し、改善目標を明確にした上で、DXを活用してゆくことが重要であることを学ぶことができた。また、事例紹介・個人ワーク・グループワークが適切に折り込まれ、参加者に「気づき」を与える大変有意義なセミナーであった。	総合評価 B	事業側評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への	満足度 B 必要性 C	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法②	青年部員が将来にわたって事業を継続させるために役立つセミナーを開催する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。